

これまでの取組の成果と課題【小学校】

	全国学力学習状況調査結果						問題行動県独自調査結果		問題行動調査結果			
	全国平均との差				全体 順位	家庭学習 時間(※1)	授業エスケ ープ(※2)	学級がうまく機能し ない状況(※3)	不登校出現 率(※4)	暴力行為発 生件数(※5)		
	国語A	国語B	算数A	算数B								
23 年度	②4実施	-1.3	-2.2	-3.2	-3.3	45	57.1% (全国59.5%)	9校	35学級	0.55% (全国0.33%)	267件	
	◎課題	→					◎H24新規・重点事業					
		<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた学習環境づくりが急務 ・基礎基本の定着に課題 ・家庭学習時間の短さが課題 ・小の不登校出現率が全国ワースト1位 ・小中高の暴力行為発生率が全国ワースト1位 						<ul style="list-style-type: none"> 新規小学校第2学年の35人学級 新規家庭学習促進計画 新規家庭環境改善サポーター配置事業 拡充SC配置事業(小学校への拡充) 拡充SSW活用事業 				
24 年度	②5実施	-1.3	-1.7	-2.6	-1.2	38	64.3% (全国63.2%)	4校	22学級	0.45% (全国0.31%)	231件	
	◎課題	→					◎H25新規・重点事業					
		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本に改善傾向が見られるが、全国平均を下回っている ・不登校出現率が全国ワーストから脱却したが、依然として高い ・小中高の暴力行為発生率が全国ワーストから脱却したが、依然として高い 						<ul style="list-style-type: none"> 新規放課後学習サポート事業 新規学びのチャレンジコンテスト 新規魅力ある授業づくり徹底事業 新規学力定着状況たしかめテスト(H25補正) 新規明るい学校づくり支援事業 拡充SSWを活用した行動連携推進事業 拡充SC配置事業(小学校への拡充) 拡充暴力行為対策アドバイザー配置事業(H23新規) 				
	◎成果	<ul style="list-style-type: none"> ・授業エスケープ及び学級がうまく機能しない状況が改善 ・家庭学習時間が全国平均を上回る 										
25 年度	②6実施	-1.5	-1.0	-0.3	-1.6	38	65.0% (全国62.0%)	2校	17学級	0.43% (全国0.36%)	223件	
	◎課題	→					◎H26新規・重点事業					
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校の意識改革を図る必要がある ・小学校における不登校出現率が依然として高い ・小中高の暴力行為発生率が依然として高い 						<ul style="list-style-type: none"> 新規頑張る学校応援事業 新規授業改革推進リーダー・推進員の配置 新規小学校における不登校対策実践研究事業 新規いじめ防止対策等総合推進事業 拡充SC配置事業(小学校への拡充) 				
	◎成果	<ul style="list-style-type: none"> ・算数Aで全国平均との差が大きく改善 										
26 年度	②7実施	-0.8	-0.9	0.0	-0.2	28	66.1% (全国62.7%)	2校	13学級	0.45% (全国0.39%)	222件	
	◎課題	→					◎H27新規・重点事業					
		<ul style="list-style-type: none"> ・依然として高い不登校への対応が必要 						<ul style="list-style-type: none"> 新規家庭学習のスタンダード作成事業 新規教師業務アシスタント配置事業 拡充授業改革推進リーダー・推進員の配置 拡充小学校における不登校対策実践研究事業 拡充SC配置事業(小学校への拡充) 				
	◎成果	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての科目で全国との差が-1.0pt以内に縮小 										

- ※1 学校の授業以外で平日1日あたり1時間以上勉強する児童の割合
 - ※2 年間平均学校数(各学期末における授業エスケープが発生している学校数の平均)
 - ※3 年間平均学級数(各学期末における学級がうまく機能しない状況が発生している学級数の平均)
 - ※4 国・公・私立の計
 - ※5 国・公・私立の計
- ※ ○ …前年度より改善

これまでの取組の成果と課題【中学校】

	全国学力学習状況調査結果						問題行動県独自調査結果		問題行動調査結果		
	全国平均との差				全体 順位	家庭学習 時間(※1)	授業エスケープ(※2)	学級がうまく機能し ない状況(※3)	不登校出現 率(※4)	暴力行為発 生件数(※5)	
	国語A	国語B	数学A	数学B							
23 年度	②4実施	-1.0	-1.7	-0.7	-1.8	42	55.7% (全国66.4%)	39校	11学級	2.92% (全国2.64%)	1,375件
	◎課題	→					◎H24新規・重点事業				
		・落ち着いた学習環境づくりが急務					新規家庭学習促進計画				
		・家庭学習時間の短さが課題					新規家庭環境改善サポーター配置事業				
		・小中高の暴力行為発生率が全国ワースト1位 (1,000人当たり8.6件)					拡充SSW活用事業				
24 年度	②5実施	0.0	-1.0	-0.9	-1.2	32	60.4% (全国68.6%)	32校	3学級	2.62% (全国2.56%)	1,032件
	◎課題	→					◎H25新規・重点事業				
		・家庭学習時間の短さが依然として課題					新規魅力ある授業づくり徹底事業				
		・小中高の暴力行為発生率が全国ワーストから脱却 したが、依然として高い(1,000人当たり6.8件)					新規学力定着状況たしかめテスト(H25補正)				
							新規明るい学校づくり支援事業				
							拡充SSWを活用した行動連携推進事業				
	◎成果						拡充暴力行為対策アドバイザー配置事業(H23新規)				
		・学級がうまく機能しない状況が改善									
25 年度	②6実施	-1.2	-2.9	-2.0	-3.9	42	58.8% (全国67.9%)	26校	3学級	2.48% (全国2.69%)	1,018件
	◎課題	→					◎H26新規・重点事業				
		・学校の意識改革を図る必要がある					新規頑張る学校応援事業				
		・中学校における授業改善を進め必要がある					新規授業改革推進リーダー・推進員の配置				
		・家庭学習時間の短さが依然として課題					新規いじめ防止対策等総合推進事業				
		・小中高の暴力行為発生率が依然として高い (1,000人当たり6.6件)					新規学校警察連絡室の設置(県警察)				
							拡充放課後学習サポート事業(中学校への拡充)				
26 年度	②7実施	-1.0	-2.3	-1.5	-3.3	41	59.0% (全国69.0%)	25校	2学級	2.37% (全国2.76%)	718件
	◎課題	→					◎H27新規・重点事業				
		・家庭学習時間の短さが依然として課題					新規家庭学習のスタンダード作成事業				
		・中学校の授業改善を更に進める必要がある					新規教師業務アシスタント配置事業				
							新規規範意識向上モデル校支援チーム				
	◎成果						拡充授業改革推進リーダー・推進員の配置				
		・暴力行為の発生件数が大きく減少					拡充放課後学習サポート事業(中学校への拡充)				

※1 学校の授業以外で平日1日あたり1時間以上勉強する生徒の割合

※2 年間平均学校数(各学期末における授業エスケープが発生している学校数の平均)

※3 年間平均学級数(各学期末における学級がうまく機能しない状況が発生している学級数の平均)

※4 国・公・私立の計

※5 国・公・私立の計

※ ○ …前年度より改善